

# 仙北市の農家民宿で 「冬のグリーン・ツーリズム」を楽しもう!!

雪の中に華麗な火の輪が踊る

幻想的なお祭り「火振りかまくら」。

巨大な紙風船がきらめく星々のごとく

真冬の夜空に舞う「紙風船上げ」。

秋田の「冬の農村」を彩る幻想的な

小正月行事の季節がやってくる。



# 楽しもう!! グリーン・ツーリズム

秋田の

Vol.10



仙北市

## あきた農山村・旬を感じるツアー Twitter を活用した農家民宿モニター募集のお知らせ

仙北市農山村体験推進協議会が実施する「あきた農家民宿モニターツアーの冬期間のモニター」を、ツイッターユーザーを対象に各回1組限定で募集します。この取組は、新しい何かを作り出すことが主ではなく、今あるものの価値や楽しみ方を今までとは違う手法で伝えるという狙いがあります。農家民宿に泊まりながら、地元の方々に混ざって祭りに使う道具などを一緒に作ったり、祭りにも参加することになります。貴重な準備体験や迫力の本番体験の様子をつぶやいてください。

- |  |   |
|--|---|
| ①西木町紙風船上げ本番<br>実施日 2/10(金)~11(土)<br>宿泊先 農家民宿「一の重」              | ③角館火振りかまくら本番<br>実施日 2/14(火)~15(水)<br>宿泊先 農家民宿「ファームinn緑の風」 |
| ②田沢湖高原雪祭り準備と火振りかまくら本番<br>実施日 2/13(月)~14(火)<br>宿泊先 ペンション「クライマー」 | ④田沢湖高原雪祭り本番<br>実施日 2/18(土)~19(日)<br>宿泊先 「どんぐり山荘」          |

お申込みが予定に達した場合には受付終了となります。詳細は<http://sembokugt.exblog.jp/>「ツアー情報」にてご確認ください。

### 【旅行代金】

現地までの移動・現地内移動・宿泊代等は全て旅行者でご負担いただき、それぞれの場所でお支払いください。

### 【モニタリング協力費】

1泊2日の間は各行程においてツイッターでリアルタイムに様子を伝えてください。また、終了後のアンケートや画像提供にもご協力ください。所定のモニタリングにご協力いただければ、モニター謝礼をお渡します。

### 【募集人員】

各コース4人程度1組

### 【申し込み】

Twitterにて@semboku\_gtあてに #semboku\_gt のハッシュタグをつけて「モニターツアーに応募したい」旨をツイートください。追って申込用紙等の提出をメールにてお願いします。

### 【お問合せ】

仙北市農山村体験推進協議会 事務局/仙北市農山村体験デザイン室

Tel.0187-43-3353 Fax.0187-47-2116

<http://sembokugt.exblog.jp/> Twitter @semboku\_gt

受付時間/午前9時~午後5時(土・日・祝除く)

ツアー参加者の「つぶやき」にも注目!! ハッシュタグ#semboku\_gtをチェック!!

秋田のグリーン・ツーリズム総合情報サイト

## 美の国秋田・桃源郷をゆく

現地特派員の3人が、農林漁業体験民宿や農林漁家レストラン、農業体験の受け入れをしている方々の活動などを県内くまなく取材。さまざまな体験にもチャレンジしながら、グリーン・ツーリズムの情報を、秋田のグリーン・ツーリズム総合情報サイト「美の国秋田・桃源郷をゆく」で紹介している。新鮮な農産物同様、顔が見える生の声を届けようと顔に汗を流しながらも奮闘している。ブログも更新中。



東北担当 菊江好美さん、関東担当 山内優子さん、関西担当 高橋桂子さん

協力/秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会 秋田県農林水産部農山村振興課

秋田のグリーン・ツーリズム情報はこちら

秋田グリーン・ツーリズム



<http://www.akita-gt.org/>



ツイッターでも情報発信中! ▶ #akita\_gt



## 角館の火振りかまぐらの炭俵を編もう



▲炭俵を編みながらもつぶやいています。▲完成した炭俵。思わず振りましてみたりして大喜び。

モニターとして参加したのは、湯沢市に住むお母さんともに参加した大仙市でお勤めの@Ochako20さん。

炭俵は、本来の用途ではなく、火振りかまぐらの行事のためだけに、角館の中川地区の11人のおじいちゃん、おばあちゃんだけで作られている。そんな説明を聞いてびっくりしながら、手どきを受けて炭俵編みに早速チャレンジ。機械で作るものと思っていたようだが、全てが手作り。一個作るのにも一時間かかるという大変な作業。華やかな祭りの裏舞台に、こんな物語があったことに驚いていた。

夕暮れには宿に戻って待ちに待った夕食。農家民宿「庵」のオーナー藤枝さんのもてなしにお二人とも大感激。話も弾んで心地よい雰囲気だった。「グリーン・ツーリズムの一番のよさは人のつながり、家族のような温かさがあるところだと思えます。だから何度も行きたくなる。次に行くときは「ただいま」って言いたくくなります。」と@Ochako20さんの「つぶやき」が、その魅力を素直に語っている。

## 伝統行事を支える 手作りの技に感激

モニターとして参加したのは、湯沢市に住むお母さんともに参加した大仙市でお勤めの@Ochako20さん。

## 西木町上桧木内の紙風船に絵を描こう



▲三人のお子さんたちと一緒に、寄せ書きのメッセージを描いた紙風船作りにチャレンジ。2月10日の紙風船上げの本番が楽しみです。

モニターとして参加したのは、宮城県から仙北市に移住してきた@nanao20さんファミリー。

「本日、農家民宿体験！ でっかい紙風船に絵や字を描くよ〜 寄せ書きもしたいから、書いてほしいメッセージ返信してください」と紙風船館にてチャレンジ。思ったよりかなり「テカ〜」とびっくり。昔は習字用の半紙を使った小さなものが大半だったが、現在の紙風船は、長さ3mから8m、大きいものでは12mのものもある。各集落が思い思いの武者絵や美人画を描いた巨大紙風船。それが2月10日の夜に、灯火をつけてきらめく星々の夜空に舞う。そんな幻想的な祭りに@nanao20さんは想いを馳せつつも、子供たちは大きなお絵かきに大はしゃぎの様子。息切れしながらもなんとか完成。宿に戻って夕食。懐かしい雰囲気の中、舌鼓を打った。農家民宿「のどか」の佳子おばあちゃんや由希子さんと楽しい団欒のひとときを過ごして、「まるで本当のうちのおばあちゃん状態」とつぶやくように、子供たちも家族のように溶け込んでいった。@nanao20さんファミリーにとっては、移り住んだ仙北市が、しっかりと第二のふるさとになったような気持ちになったにちがいない。

## お絵かきを楽しみながら 第二のふるさとを実感



▲生みたてが自慢の卵かけご飯や地元の食材をふんだんに使い季節に応じた手作り料理。オーナーの藤枝知恵子さん手作りの料理の説明に、お二人とも聞き入っていた。▶大きな梁が特長の広い居間は、時間を忘れてくつろげる雰囲気だ。奥は寝室となる畳の部屋。



農業体験や料理、リース・苔玉などの楽しい花あしらいなど各種体験もできる。

## 農家民宿 庵

仙北市角館町小勝田前田65  
☎0187-55-2262 (FAX)  
料 素泊まり4,500円  
1泊朝食5,000円  
1泊2食6,000円  
冬季暖房費1人+500円  
定員/4人(1日1組限定)



武家屋敷から車で5分程の農家の一角に昔の曲がり家の一部を移築し、大きな梁を活かして内観をほぼ新築に近い状態に改築して、昨年9月にオープンした農家民宿。一組限定のため、タイミング付き二部屋を貸切で泊まることできるのは魅力的だ。

周囲を山と田畑に囲まれた、名前の通りに長閑な農家民宿。裏山に高く聳え立つ杉木立を借景に、手塩にかけた庭園は圧巻。庭に流れる清水は飲料水として使えるほど清らかだ。庭を眺めているだけでもいい、そんな気持ちに誘ってくれる不思議な魅力に溢れた宿。

杵と臼を使った餅つき、きりたんぼ作りなど、様々な体験もできる。

## 農家民宿 のどか

仙北市西木町上荒井字下橋元97-2  
☎0187-47-2540  
料 1泊2食6,000円(子ども4,000円)~  
冬季暖房費1人+500円  
定員/5人(室数2:6畳、8畳が1部屋ずつ)



仙北市が任命する「食の伝道師」の一人でもある佳子おばあちゃんとオーナーの高橋由希子さんの二人三脚で営む農家民宿は「のどか」な雰囲気。

ツイッターを活用したモニターツアーは、すでに14回開催されている。今月はその中から12月17・18日の模様をレポート。その詳細はツイッターや仙北市農山村体験デザイン室のブログで見たいが、モニターの方々の目線で感じたリアルタイムなつぶやきは、グリーン・ツーリズムの魅力と冬ならではの楽しみ方をわかりやすく教えてくれるにちがいない。